

消化器内科からのご案内

平素より大変お世話になっております。当院消化器内科は現在常勤医師3人体制で、全員日本肝臓学会認定の肝臓専門医です。外来や内視鏡検査などは非常勤医師の協力も得て、各種消化器疾患に対応しております。

外来は午前診については月から金曜日まで毎日2人体制(水曜日のみ1人)で行っております。

入院は肝疾患を中心とした消化器疾患の治療を行っております。

肝疾患については主にC型慢性肝炎やB型慢性肝炎の抗ウイルス療法(インターフェロン療法、経口剤による抗ウイルス剤療法)、肝硬変症に対する肝不全症状の治療、肝細胞癌に対する各種治療、原因不明の肝障害の精査治療等行っております。

C型慢性肝炎および代償性肝硬変に対する経口の抗ウイルス療法が可能となり、現在約200例の患者さんに治療を行い、95%程度の高い確率で治癒するようになっております。従来のインターフェロン治療と比較して副作用がほとんどないことが長所であり、このため80歳台の患者さんでも治療が可能で、ただし、医療費が高額なため、医療費助成を受けないと高

額な支払いが必要になりますが、肝臓専門医は医療費助成の書類作成ができるため、当科では安心して治療を受けて頂く事ができます。

肝細胞癌についてはラジオ波焼灼療法やエタノール注入療法、放射線科と協力して肝動脈塞栓術や肝動注療法、定位放射線療法を行っております。手術適応の場合は当院外科にて治療お願いしております。

消化管疾患については上下部内視鏡検査、大腸ポリープの内視鏡治療、ピロリ菌の除菌治療を積極的に行っております。その他の内視鏡治療や内視鏡的検査は対応できない場合があります、可能な施設へ紹介させて頂いております。

胃癌や大腸癌、膵胆道系癌は当院外科、腫瘍内科と協力し治療にあたっております。

また、4月からは岸和田徳州会病院から内視鏡の専門医が2名常勤で赴任することになりましたので、今まで対応不可能であった疾患も徐々に対応可能となります。今後も、地域のご要望にお応えできますよう一層の努力を積み重ねますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 副院長

坂口 浩 樹

病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に務めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

外来休診のお知らせ

下記の通り、外来診察を休診とさせていただきます。ご了承のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



眼科

2月20日(月) 休診

2月23日(木) 振替診察

新病院のご紹介

ただいま平成30年4月の移転に向け、準備を進めております。概要など一部ご紹介いたします。

完成予想パース(鳥瞰 北東から)

公園との一体整備



階別機能構成

8F	一般病棟(42床)	一般病棟(42床)
7F	一般病棟(42床)	一般病棟(42床)
6F	小児病棟(23床)	一般病棟(42床)
5F	緩和ケア病棟(24床)	腫瘍病棟(42床)
4F	手術部・HCU(ICU)床・病理・中央材料・管理部門	
3F	リハビリ・透析・腫瘍センター・健診センター・中央検査・講堂・リハビリ外来	
2F	救急・放射線・内視鏡・中央処置・外来・地域連携・エントランス	
1F	サブエントランス 駐車場・厨房・薬局・SPD・更衣室・解剖・書庫	

エントランスホールイメージ

和泉市の地産である「いすもく」や「和泉木綿」をイメージしたエントランスホール



4床室イメージ



病院概要

- **基本理念** ・ 生命を安心して預けられる病院 ・ 市民の健康と生活を守る病院
- **病院再整備コンセプト**
 - ① 24時間対応の地域住民が安心できる救急医療の提供
 - ② がん医療を中心とした高度専門医療の提供
 - ③ 患者中心の安全で質の高い医療の提供
 - ④ 地域住民への健康講座や介護・福祉との密接な連携による地域医療の充実
 - ⑤ 災害時に機能を発揮できる病院
 - ⑥ 良質な医療サービスを提供するために必要な人材の確保・育成

地域医療連携室は、2階エントランスホールに入ってすぐのところのところに設置し、院外と院内の橋渡しをスピーディーかつ円滑に行えるよう努める所存です。来年4月の移転に向けて準備を進めながら、当地であと1年頑張りますので、引き続きご高配の程、何卒宜しくお願い申し上げます。